



報道関係者各位

経済産業省

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

気候変動対策の鍵となる「イノベーション」を議論する「ICEF2025」 10月8日～9日、東京にて開催。講演プログラムを公開

—世界の産学官リーダーが語る、地球温暖化対策とイノベーションの最前線—



経済産業省と国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下 NEDO）は、10月8日（水）～9日（木）の2日間、「Innovation for Cool Earth Forum 第12回年次総会（以下 ICEF2025）」を、ウェスティンホテル東京、およびオンラインにて開催します。ICEFは、地球温暖化対策の鍵となる「イノベーション」を推進するため、世界中の産学官のリーダーが一堂に会して議論する国際会議として、経済産業省及び NEDO の主催により、2014年以降、毎年開催し、今年で12回目の開催となります。

第12回を迎える本年はメインテーマ「Innovation for Green Transformation (GX) and Security（グリーンTRANSフォーメーション（GX）と安全保障へのイノベーション）」の下、約10のセッションを開催します。いずれも、地球温暖化対策・イノベーションをテーマにした注目のセッションです。

■開催概要

《会議名》 Innovation for Cool Earth Forum 第12回年次総会 (ICEF2025)

《主催》 経済産業省、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)

《開催日》 2025年10月8日(水)、9日(木)

《場所》 ウェスティンホテル東京 (住所: 東京都目黒区三田 1-4-1) (オンラインとのハイブリッド開催)

《言語》 英語 (日英同時通訳あり)

《参加登録費用》 無料 (席に限りがございます)

《公式 HP》 <https://www.icef.go.jp/jp/>

《共催》 外務省、文部科学省、農林水産省、環境省

《後援》 国際エネルギー機関 (IEA)、BloombergNEF、国際連合工業開発機関 (UNIDO)、国際再生可能エネルギー機関 (IRENA)

■ICEF2025 の主な見どころ

世界が様々な困難に直面しつつもカーボンニュートラル達成へと進んでいくために鍵となるイノベーションについてエネルギー・環境に関する産業界、学界、政府機関の著名な専門家が一堂に会し議論を行います。

「Innovation for Green Transformation (GX) and Security (グリーントランスフォーメーション (GX) と安全保障へのイノベーション)」をメインテーマとし、カーボンニュートラルと安全保障を目指す国際連携をはじめ、グリーン水素技術、天然水素、再生可能エネルギーの未来、二酸化炭素の除去・利活用、サーキュラーエコノミーとスタートアップ、気候変動への適応とレジリエンスを通じた安全保障など、幅広いテーマについて世界の第一人者だけでなく2050年に社会の中核となる若手世代も議論に参加します。

会議後は今後必要となる方策、将来に向けた行動及び今回の各セッション等での議論を取りまとめた ICEF 運営委員会による提言 (ステートメント) の発表、並びにカーボンニュートラル達成に向けて短期的・長期的に貢献する主要な革新的技術の道筋、手法を提言する ICEF ロードマップの公開を予定しています。

詳細は公式 HP をご確認ください。

<https://www.icef.go.jp/jp/program/>

※プログラムと登壇者は今後追加・変更の可能性がございます。

<プログラム>

- 開会式
- カーボンニュートラルと安全保障に向けた国際連携
- 原子力の利活用
- 気候変動への適応とレジリエンスを通じた安全保障
- 再生可能エネルギーの未来
- 二酸化炭素の除去と利活用
- ICEF ロードマッププロジェクト: 持続可能なデータセンター

- サークュラーエコノミー×スタートアップ
- 天然水素
- クリーン水素技術の推進
- 閉会式

* * * * *

【お問い合わせ先】

ICEF2025 事務局／株式会社ファースト 広報担当

e-mail : icef-media@mail.obo.bz